

国土数值情報（行政区域）

製品仕様書

第 4.1 版

---

令和 8 年 3 月

国土交通省 不動産・建設経済局

---

【改訂履歴】

版	更新日	改訂内容
第 1.0 版	2007 年 5 月	初版（地理情報標準プロファイル（JPGIS） ver.1.0 準拠）
第 2.0 版	2010 年 3 月	地理情報標準プロファイル（JPGIS）のバージョンアップに伴う改訂（符号化仕様は GML 準拠）。
第 2.1 版	2012 年 3 月	GML 形式への変換作業に伴い、一部見直しを実施（符号化仕様は GML 準拠）。
第 2.2 版	2014 年 3 月	支庁名を支庁・振興局名に変更。
第 2.3 版	2016 年 3 月	座標系を JGD2011 / (B, L) に変更。
第 2.4 版	2020 年 3 月	時間範囲を 1920 年度からに修正。
第 3.0 版	2021 年 3 月	JPGIS2014 に対応。
第 3.1 版	2022 年 3 月	支庁・振興局名を振興局名に変更。
第 4.0 版	2024 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目の定義を以下のとおり変更し、それに従い説明の見直しも行った。</li> <li>  [振興局名]：名称を [北海道の振興局名] へ変更した。</li> <li>  [郡・政令都市名]：名称を [郡名] とし、郡の名称のみを格納する項目に変更した。</li> <li>  [市区町村名]：基礎的地方公共団体である市町村及び特別区を格納する項目に変更した（政令指定都市の市名は本項目へ格納、政令指定都市の行政区は分離）。</li> <li>  [政令指定都市の行政区名]：政令指定都市の行政区名を格納する項目として新設した。</li> <li>  [行政区域コード]：名称を [全国地方公共団体コード] へ変更し、多重度を[1]に変更した。</li> </ul>
第 4.1 版	2026 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ksj 名前空間の「https」部分を「http」に変更した。</li> <li>・「付属資料-2 符号化仕様」の&lt;xsd:schema&gt;における gml の名前空間宣言を「http://www.opengis.net/gml/3.2」に変更した。</li> </ul>

# 目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	1
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容及び構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 国土骨格パッケージ.....	5
4.1.3 行政区域パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	8
5 参照系.....	9
5.1 座標参照系.....	9
5.2 時間参照系.....	9
6 データ品質.....	10
7 データ製品配布.....	13
7.1 配布書式情報.....	13
7.2 配布媒体情報.....	13
8 メタデータ.....	13
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

# 1 概覧

## 1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：  
国土数値情報（行政区域）製品仕様書 第4.0版
- 日付：2025年3月26日
- 作成者：国土交通省 不動産・建設経済局
- 言語：日本語
- 分野：国土骨格
- 文書書式：PDF

## 1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土形成や土地・不動産関連分野等の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、全国の行政界について、都道府県名、北海道の振興局名、郡名、市区町村名、政令指定都市の行政区名、全国地方公共団体コードを整備したものである。

## 1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲  
日本全国
- 時間範囲  
令和6年1月1日時点

## 1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014 令和元年7月

## 1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014「附属書5（規定）定義」
- 国土交通省不動産・建設経済局情報活用推進課 GIS ホームページ ガイダンス  
URL : <https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

## 1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

## 1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <https://nlftp.mlit.go.jp/>

## 2 適用範囲

---

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

### 2.1 適用範囲識別

国土数値情報（行政区域）製品仕様書第 4.0 版適用範囲

### 2.2 階層レベル

データ集合

## 3 データ製品識別

---

### 3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

- 空間データ製品の名称  
国土数値情報（行政区域）データ
- 日付  
2025 年 3 月 26 日
- 問合せ先  
国土数値情報提供サイト運営事務局  
URL : <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/inquiry.html>
- 地理記述  
日本全国

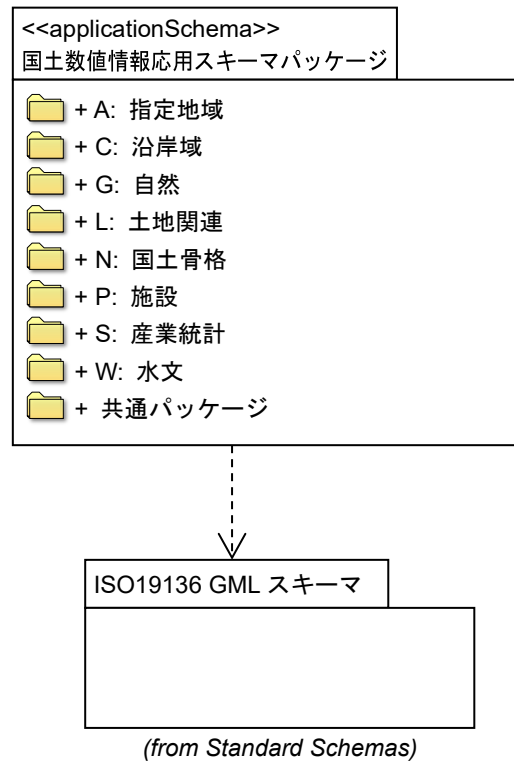
## 4 データ内容及び構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図及び定義文書を記す。

### 4.1 応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書

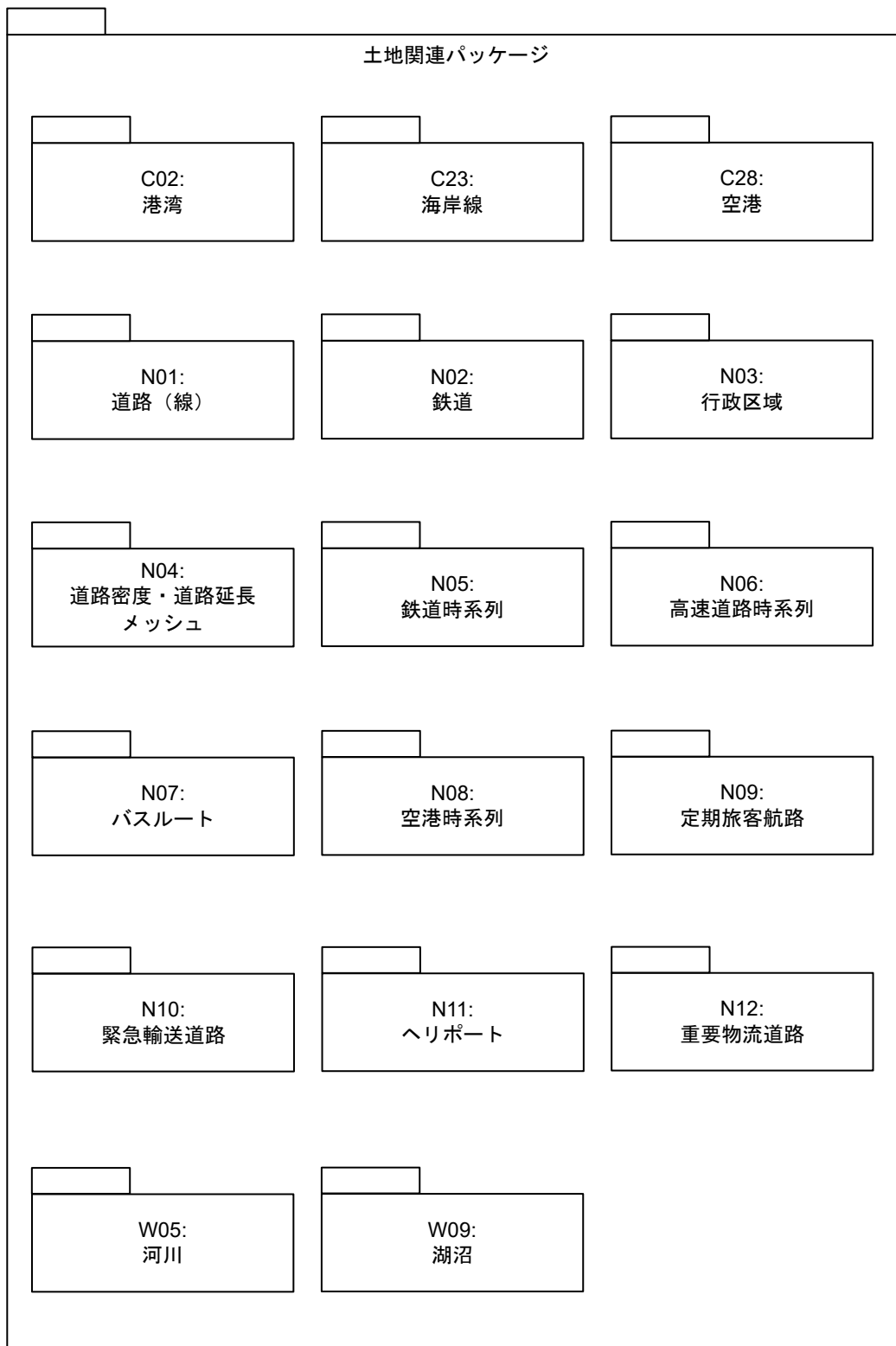
#### 4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物及びメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



#### 4.1.2 国土骨格パッケージ

このパッケージは、国土骨格に関するパッケージをまとめたものである。

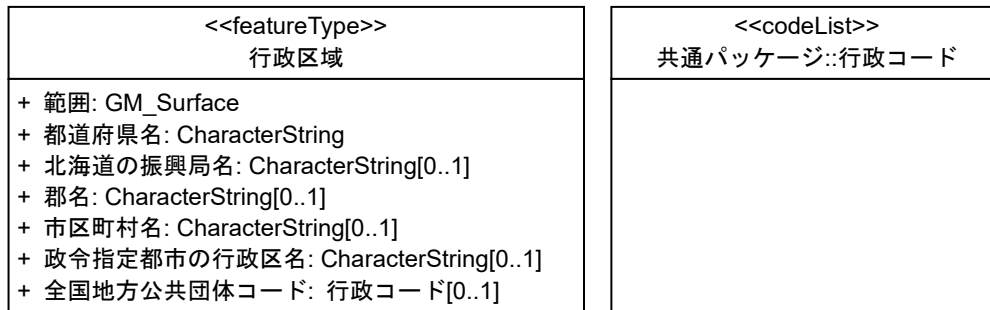




### 4.1.3 行政区域パッケージ

このパッケージは、行政区域に関する内容をまとめたものである。

#### 4.1.3.1 応用スキーマクラス図



#### 4.1.3.2 応用スキーマ文書

##### 行政区域

令和6年1月1日時点の行政界及び海岸線で囲まれる区域。

原典資料を以下に示す。

- ・数値地図（国土基本情報）：国土地理院
- ・国土数値情報（行政区域）：国土交通省 ※過年度データ
- ・全国地方公共団体コード一覧：総務省

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

範囲：GM\_Surface

行政区域の範囲。

都道府県名：CharacterString

当該区域における、地方自治法第2条第5項で定義される、市町村を包括する広域の地方公共団体である都道府県の名称。

##### ■定義域

日本国内に存在する都道府県名称。

北海道の振興局名 : `CharacterString[0..1]`

当該区域における、地方自治法第 155 条第 1 項で定義される支庁のうち、都道府県が「北海道」である場合の振興局名の名称。

■ 定義域

都道府県名が「北海道」である場合、市町村を管轄する振興局の名称。それ以外の場合には未格納。

郡名 : `CharacterString[0..1]`

当該区域における、地方自治法第 259 条で定義される、1 つ以上の町村から構成される範囲の名称。

■ 定義域

市区町村が「町」もしくは「村」である場合、その町村が所属する郡の名称。市及び郡が存在しない東京都島嶼部の町村の場合には未格納。

市区町村名 : `CharacterString[0..1]`

当該区域における、地方自治法第 2 条第 3 項（市町村）及び地方自治法第 281 条の 2 第 2 項（都の特別区）で定義される、基礎的な地方公共団体である市町村及び都の特別区名。

■ 定義域

日本国内に存在する基礎的な地方公共団体である市区町村の名称。帰属する市区町村が未定の場合「所属未定地」と格納。

政令指定都市の行政区名 : `CharacterString[0..1]`

地方自治法第 252 条の 20 で定義される、政令指定都市内に設置される行政区名。

■ 定義域

市区町村が政令指定都市である場合、その区域の行政区の名称。政令指定都市以外の場合には未格納。

## 全国地方公共団体コード：行政コード [0..1]

JIS X 0401 で定められている都道府県コード 2 桁と、JIS X 0402 で定められている市区町村コード 3 桁から構成される 5 桁の数字で表現されたコード。

### ■定義域

「行政コード」の取り得る値。

#### 4.1.4 共通パッケージ

---

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

#### 行政コード

行政区域を一意に識別するためのコード。JIS X 0401 に定められた都道府県コード（2 桁）と、JIS X 0402 に定められた市区町村コード（3 桁）を結合した 5 桁の数字からなる。

#### コード

---

コード	定義
01100	北海道札幌市
:	(省略)
47382	沖縄県与那国町

## 5 参照系

---

### 5.1 座標参照系

座標参照系は、参照系識別子：“JGD 2011 / (B, L)”とする。この表記は、JIS X 7115 附属書 2 に規定された表記方法に準拠しており、JGD2011 は日本測地系 2011、(B, L)は測地座標系による緯度、経度であることを示している。

### 5.2 時間参照系

時間参照系は、参照系識別子：“GC / JST”とする。この表記は、JIS X 7115 附属書 1 に規定された表記方法に準拠しており、GC はグレゴリオ暦（西暦）、JST は日本標準時であることを示している。

## 6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料が示す地物と対応関係がとれない地物が存在すれば、それを過剰なデータとカウントする。また、データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合、本体を除き、重複している余分なデータの個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%) = (過剰なデータ数 / 原典資料に含まれるデータ総数) × 100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合内に、原典資料と対応する地物データが存在しない場合、それをデータの漏れとカウントする。 誤率(%) = (漏れのデータ数 / 原典資料に含まれるデータ総数) × 100
データ品質評価手法	原典資料との比較による全数検査を実施する。
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合の書式が、整形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML パーサなど）による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合を計算する。
データ品質評価手法	検査プログラム（XML バリデータ）による全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	地物属性の値が、応用スキーマが規定する定義域に含まれていない場合、その個数をエラーとしてカウントする。 誤率(%) = (定義域の範囲外にある値を持つ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	論理一貫性・位相一貫性
データ品質適用範囲	なし
データ品質評価尺度	データ集合が持つ位相属性及び位相を含む幾何属性の一貫性を検査し、エラーの割合（誤率）を計算する。 誤率(%) = (位相一貫性のエラーの数 / 検査対象のアイテムの総数) × 100
データ品質評価手法	検査プログラムによる全数検査を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	行政区域
データ品質評価尺度	原典資料が地図であるものに関して、地図と原典資料、背景図（地理院地図）を画面上で原典資料の縮尺で重ねて表示し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	全データの 2% を実施する。
適合品質水準	水平位置の標準偏差：25m

品質要素	時間正確度・時間測定正確度
データ品質適用範囲	なし
データ品質評価尺度	データ集合に記録された時間と、参照データ（“原典資料名”に記載された資料）の時間と比較し、データ集合中に記録された時間のエラーの個数を数える。
データ品質評価手法	全データの 2% を実施する。
適合品質水準	誤差 0 日（又は 0 月、0 年）

品質要素	時間正確度・時間妥当性
データ品質適用範囲	なし
データ品質評価尺度	製品仕様書で定められた時間範囲のデータが作成されていないか、参照データ（“原典資料名”に記載された資料）の妥当性とそれに基づき作成されたデータの妥当性を確認し、妥当でない個数をエラーとして数え、総数で割った値。
データ品質評価手法	全データの 2% を実施する。
適合品質水準	時間妥当性が正しくないエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	行政区域
データ品質評価尺度	地物属性の区分の値が示す内容を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物属性の割合を算出する。 誤率(%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全データの 2% を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	行政区域
データ品質評価尺度	地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物の割合属性の割合を算出する。 誤率(%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全データの 2% を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正確度
データ品質適用範囲	なし
データ品質評価尺度	地物属性を原典資料と比較し、原典資料に記載されている内容と一致しない地物の割合属性の割合を算出する。 誤率(%) = (内容が一致しない地物属性の数 / 地物属性の総数) × 100
データ品質評価手法	全データの 2% を実施する。
適合品質水準	誤率 0%

## 7 データ製品配布

---

### 7.1 配布書式情報

#### ■ 書式名称

JPGIS 2014 附属書 12（規定）地理マーク付け言語（GML）

#### ■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 2014 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

<http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd>

国土数値情報（行政区域）応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間及び名前空間接頭辞は次のとおりとし、XML Schema については付属資料を参照のこと。

名前空間：<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞：ksj

#### ■ 文字集合

UTF-8

#### ■ 言語

日本語を使用する。

### 7.2 配布媒体情報

#### ■ 単位

全国、都道府県、地方区分

#### ■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。  
国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS 準拠データ）

URL：<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

## 8 メタデータ

---

本製品仕様書のメタデータは、JMP2.0 を採用する。



# 国土数值情報（行政区域）製品仕様書 第 4.0 版

---

## 付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
国土骨格関連					
N03 行政区域					
	行政区域			AdministrativeBoundary	administrative boundary
		範囲	GM_Surface	bounds	bounds
		都道府県名	CharacterString	prefectureName	prefecture name
		北海道の振興局名	CharacterString[0..1]	subprefectureName	subprefecture name
		郡名	CharacterString[0..1]	districtName	district name
		市区町村名	CharacterString[0..1]	municipalityName	municipality name
		政令指定都市の行政区名	CharacterString[0..1]	wardName	ward name
		全国地方公共団体コード	行政コード[0..1]	administrativeAreaCode	administrative area code

## 付属資料-2 符号化仕様

---

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2"
  xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
  elementFormDefault="qualified"
  version="4.0">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
    schemaLocation="http://schemas.opengis.net/gml/3.2.1/gml.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="AdministrativeBoundary" type="ksj:AdministrativeBoundaryType"
    substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="AdministrativeBoundaryType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>行政区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
        <xsd:sequence>
          <xsd:element name="bounds" type="gml:SurfacePropertyType">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="prefectureName" type="xsd:string">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="subprefectureName" type="xsd:string" minOccurs="0">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>北海道の振興局名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="districtName" type="xsd:string" minOccurs="0">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>郡名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
          <xsd:element name="municipalityName" type="xsd:string" minOccurs="0">
            <xsd:annotation>
              <xsd:documentation>市区町村名</xsd:documentation>
            </xsd:annotation>
          </xsd:element>
        </xsd:sequence>
      </xsd:extension>
    </xsd:complexContent>
  </xsd:complexType>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="wardName" type="xsd:string" minOccurs="0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>政令指定都市の行政区名</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>全国地方公共団体コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="AdministrativeBoundaryPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:AdministrativeBoundary"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="AdministrativeBoundaryMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:AdministrativeBoundary"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>

```